



第2巻  
第15号

平成24年7月20日

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県中之条町上沢渡の大岩フラワーガーデン

### 目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告①
3. 事務所・現地感想文

# 災害対策本部からのお知らせ

## 協力員募集！！

**引き続き協力員を募集しています。**

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

7月、8月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

**皆様のご協力をお願いいたします。**

## 次回災害対策本部会議について

次回は7月21日（土）18:00～協会事務所にて開催します。

決定事項は後日ご報告させていただきます。

## 書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：[http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)



## Facebook ・ YouTube で情報をお伝えしています！！

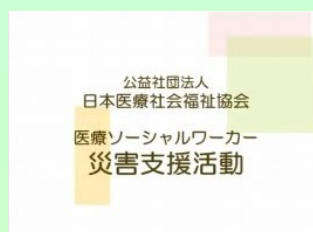


- Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

- YouTube URL-

<http://www.youtube.com/watch?v=vn3419h5rJ4&feature=youtu.be>



## 現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

### (1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

### (2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

## 現地支援活動報告①

東理 美沙（茨城県 県立こころの医療センター）

期間：7月2日～7月6日

今回初めて協力員として活動に参加させていただきました。災害支援自体初めての経験で、制度や社会資源、地理といったソーシャルワーカーに必要な知識も乏しい状態でしたが、現地担当者の皆さんのサポートを受けながら、在宅避難者に対する訪問や電話相談を行うことができました。訪問したお宅で災害時から今に至るまでのお話を聞かせていただき、大変なことを乗り越えて今は衣食住が整い健康面でも安定された生活を送っていると知り、被災者の取り戻す力、前に進む力を知ることができました。一方で訪問に出かけたはよいものの、地図にあるはずの道はなく、目印になるはずの大きな建物も何もない、といった災害後の痛々しい傷跡にも直面することができました。また、石巻で活動しているボランティアが集まったのサロン会議でも被災者が今実際に抱えている問題と、それに合わせてボランティアが今すべきことについて考え、知ることができました。

これらはどれも報道や想像とは大きなギャップがあり、現地に来なければわからない事でした。この経験をもとに、どんな形であっても被災地支援を継続し、自身のソーシャルワークにも活かしていきたいと思えます。出会った石巻の方とお世話になった現地担当者の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は約2年、ソーシャルワークの仕事から離れていました。ブランクがあつての活動でしたが、快く迎え入れサポートしていただいたおかげで活動を全うすることができました。初めての経験、ブランクがある、自信がないなど迷われている方へ。それで立ち止まってしまつてはもったいないです。どうぞ石巻に足を運んでください。

## 現地感想文

7月9日（月）

2期調査はまだ30数軒のフォロー訪問依頼で、こちらも今少しゆとりがあり、溜まっていた1期調査フォローを片付けています。眠れない方の多かった1期調査も今は、眠れていますとの報告が増えましたが、多くが眠剤を使用。これを運動や社会とかかわりある活動に参加することで、自然な疲労と眠りがとりもどせたらと考えています。

7月13日（金）

現在、参加中の協力員の方は、遊楽館支援のバトンの3本目。昨年4月初めに車で単身石巻入りされて以降のパワフルな武勇伝(?)を伺いました。臨場感一杯のお話に新人現地担当員の私たちは目を見開くばかりですが、彼女も当時と今の石巻の違いに深い印象をうけているようです。急性期と回復期、それぞれの支援について様々に思いがめぐるとのことで、そんな洞察などまた伺う機会があればと、期待してしまいます。

7月15日（日）

宇都宮から9名の心理士がチームに参加、調査や訪問に賑やかな2日間でした。こちらも、来訪の若手3人が、川沿いを走り、北上、雄勝と足を延ばして訪問。「なーんにもなくなった」と古老の語る地域を走ってきました。牡鹿、雄勝の半島を抱える石巻の広さ、被害の大きさを感じて来たようです。

多少蒸し暑さはあるものの、西の各地と比べると、さわやかな石巻、夏休みは、ぜひおいで下さい。

市内から3、40分で、松島海岸、山の中の魚貝料理の豪華な追分温泉（5700円から）もあります。もちろん、合宿気分の宿舎は、地元食材手料理のご馳走つきです。

## 事務所感想文

7月11日（水）

東（初台リハビリテーション病院）

久しぶりの活動でした。事務所に来て、事務所・現地双方で起きていることを知ると、これからも活動を続けていこうという気持ちが強くなります。ささやかながら三輪さんのお手伝いができるように頑張ります!!